

問1 北アメリカ大陸に位置するある国は、国民の約78.5%がキリスト教を信仰しており、日本やEU（欧州連合）にとって極めて重要な貿易相手国となっています。ある統計資料において、この国の対日輸出額は732、対日輸入額は1414、対EU輸出額は2718、対EU輸入額は4167となっており、他国と比較して圧倒的に大きな貿易額を示しています。この国の名称として正しいものを次から選びなさい。（2019年 和歌山公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国 2. フィリピン 3. ブラジル 4. メキシコ

問2 カナダの貿易構造の特徴について、輸出相手国の統計データから読み取れる状況とその背景を説明したものととして、最も適切なものはどれか。

（2016年 愛媛公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国が輸出総額の約7割以上を占めており、地理的な近接性から特定の国への依存度が高い。 2. かつての宗主国であるイギリスをはじめとするEU諸国への輸出が、総額の過半数を超えている。 3. 近年はアジア市場の拡大に伴い、中国がアメリカ合衆国を抜いて最大の輸出相手国となっている。 4. 広大な国土の資源を自国で消費するため、特定の国に依存せず、世界各国へ均等に輸出している。

問3 北アメリカ大陸の東海岸側に位置する地域で、1776年に独立を宣言した国に関する説明として、最も適切なものを選びなさい。（2018年

東京都公立入試 類似）

1. 建国後、東部から西部へと開拓を進めることで国土を広げ、現在は政治や経済などの面で国際社会をけん引している。 2. 19世紀半ばまでイギリスの植民地として統治され、20世紀に入ってから太平洋沿岸部を中心に開拓が始まった。 3. 1917年に起こった革命をきっかけとして建国され、その後、東部の未開拓地へと勢力を拡大していった。 4. ポルターと呼ばれる大規模な干拓地を造成することで国土を広げ、農業を基盤とした経済発展を遂げた。

問4 北半球に位置するある国について、世界の鉱産資源の統計において銀の産出量が世界有数であり、かつてスペインの植民地であった歴史から、住民の多くがキリスト教を信仰しているという特徴を持つ国はどこですか。（2023年 滋賀公立入試 類似）

1. メキシコ 2. ペルー 3. ブラジル 4. フィリピン

問5 アメリカ合衆国西部のロサンゼルス郊外にあるハリウッドで、世界的な規模に発展した産業と、その発展を支えた気候的な要因の組み合わせとして正しいものはどれですか。（2022年 愛知公立入試 類似）

1. 映画産業 — 年間を通じて晴天の日が多く、撮影に適した地中海性気候であったこと 2. 航空機産業 — 広大な土地があり、偏西風を利用した飛行試験に適していたこと 3. 情報通信産業 — 夏の乾燥が精密機器の保管や製造に有利であったこと 4. 石油化学工業 — 太平洋沿岸で輸入が容易であり、乾燥した気候が爆発事故を防いだこと

問6 ある国における貿易の統計を確認すると、輸出相手国の第1位がカナダ、第2位がメキシコ、第3位が中国となっています。また、輸入についても中国、カナダ、メキシコ、日本が上位を占めています。輸出総額が約1兆4800億ドル、輸入総額が約2兆2600億ドルという世界最大級の貿易規模を持つこの国はどこですか。（2014年 和歌山公立入試 類似）

1. アメリカ合衆国 2. ブラジル 3. ドイツ 4. オーストラリア

問7 アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3カ国間で結ばれ、域内の関税を撤廃することで貿易を活発にし、経済の活性化を図ることを目的とした協定の名称を選びなさい。（2021年 岡山公立入試 類似）

1. 北米自由貿易協定 2. アジア太平洋経済協力会議 3. 東南アジア諸国連合 4. 環太平洋経済連携協定

問8 アメリカ合衆国における移民の出身地域は、時代とともに大きく変化しています。1960年の統計ではヨーロッパ州からの移民が過半数を占めていましたが、2020年の統計ではその割合が激減し、代わって出身地域別人口割合で最も高い比率を占めるようになった地域はどこですか。

（2026年 岐阜公立入試 類似）

1. 南北アメリカ州 2. アフリカ州 3. オセアニア州 4. 東ヨーロッパ地域

問9 カナダにおける言語や文化の状況について述べた文章のうち、その歴史的背景をふまえた説明として最も適切なものを選んでください。（2024年

山梨公立入試 類似）

1. イギリスの植民地のみであったため、英語のみを公用語としているが、近年は移民の影響でスペイン語の話者が急増している。 2. フランスの植民地から独立したため、公用語はフランス語のみであるが、経済的な理由から英語も広く使われている。 3. イギリスとフランスの植民地であった歴史から、両言語を公用語とし、看板などの表記においても二つの言語が併記されている。 4. 先住民の文化のみを国家の基盤としており、ヨーロッパ諸国の言語は公用語として認められていない。

問10 アメリカ合衆国において、メキシコや中央アメリカ、西インド諸島の国々から移住してきた、主にスペイン語を話す人々やその子孫を何といいますか。（2025年 青森県公立入試 類似）

1. ヒスパニック 2. アングロサクソン 3. ネイティブアメリカン 4. 華人

問11 アメリカ合衆国のアラスカ州に位置するアンカレジは、国際的な航空交通の拠点（ハブ空港）として重要な役割を果たしてきました。この都市が航空路の拠点として発展した地理的な理由と、その機能について説明したものととして最も適切なものを選んでください。（2024年 静岡公立入試 類似）

1. 東アジアと北アメリカを結ぶ最短経路付近に位置しており、航空機の給油拠点として利用されている。 2. 北極圏に近いものの、暖流の影響で一年中気候が安定しており、欠航が非常に少ないため拠点となった。 3. 北米大陸を縦断する鉄道と、北極海航路を繋ぐ港湾施設が整備されたため、陸海空の交通の結節点である。 4. 近隣で産出される原油や天然ガスの価格が安く、燃料を安価に提供できるため、世界最大の給油地となった。

問12 アメリカ合衆国の北緯37度以南に広がるサンベルトと呼ばれる地域で、近年、先端技術産業が急速に発展した背景として最も適切なものを次の中から選びなさい。（2024年 大阪公立入試 類似）

1. 温暖な気候に加えて、広い土地や安価な労働力が確保しやすかったため、多くの企業が進出した。 2. 五大湖周辺で産出される鉄鉱石や石炭を背景に、大規模な重化学工業の集積が進んだため。 3. 北東部の古い工業地帯よりも冬の寒さが厳しく、エネルギー需要に対応するためのインフラ開発が先行したため。 4. 広大な草原地帯を利用した企業的な小麦栽培と、それを加工する食品産業が中心となって成長したため。

## 答え合わせ・解説

問1	答え 1 アメリカ合衆国	アメリカ合衆国は、広大な国土と世界最大の経済規模を持つ北アメリカ州の国です。歴史的背景からキリスト教徒が人口の多くを占めており、その巨大な市場と高度な工業力を背景に、日本やEUにとって最大の貿易相手国の一つとなっています。選択肢にあるフィリピンもキリスト教徒が多い国ですが、東南アジアに位置しており、貿易額の規模がこれほど巨大ではない点でアメリカ合衆国と区別されます。
問2	答え 1 アメリカ合衆国が輸出総額の約7割以上を占めており、地理的な近接性から特定の国への依存度が高い。	カナダの輸出貿易は、地理的に隣接し、かつてNAFTA（北米自由貿易協定）などの経済連携を強めてきたアメリカ合衆国に大きく依存しています。実際の統計でもアメリカ合衆国が輸出全体の約7割から8割を占めることが多く、これはカナダ経済がアメリカ合衆国の景気動向に大きく左右されやすい構造であることを示しています。
問3	答え 1 建国後、東部から西部へと開拓を進めることで国土を広げ、現在は政治や経済などの面で国際社会をけん引している。	アメリカ合衆国は1776年に独立を宣言し、当初の大西洋沿岸13州から「フロンティア」と呼ばれる開拓前線を西へと進めることで領土を拡大しました。1917年の革命はロシアの内容であり、ポルターはオランダに見られる干拓地のことです。また、アメリカは18世紀には既に独立を果たしており、19世紀までイギリスの植民地であったという説明は誤りです。
問4	答え 1 メキシコ	メキシコは北アメリカ大陸に位置する北半球の国であり、16世紀からスペインの植民地となった背景から、現在もスペイン語やキリスト教（カトリック）が深く根付いています。銀の生産量は世界でもトップクラスです。選択肢のうち、ペルーは銀の産出が多いですが南半球に位置し、ブラジルはかつてポルトガルの植民地でした。フィリピンはアジアの国であり、銀の主要な産出国としての文脈には当てはまりません。
問5	答え 1 映画産業 — 年間を通じて晴天の日が多く、撮影に適した地中海性気候であったこと	ロサンゼルス周辺は、夏季に降水量が極端に少なくなる地中海性気候に属しています。映画製作の初期段階では、安定した太陽光の下で撮影を行う必要があったため、1年を通じて晴天の日が多いこの地域の気候条件は、映画産業の発展にとって決定的な要因となりました。これによりハリウッドは世界的な映画製作の拠点となりました。
問6	答え 1 アメリカ合衆国	北米自由貿易協定（NAFTA）やその後のUSMCAの影響もあり、陸続きの隣国であるカナダやメキシコとの経済的結びつきが非常に強いのが特徴です。世界最大の経済大国として、アジアの中国や日本、ヨーロッパのドイツやイギリスなど、世界中の国々と膨大な額の取引を行っています。
問7	答え 1 北米自由貿易協定	アメリカ合衆国、カナダ、メキシコの3カ国が、経済的な結びつきを強めるために署名した貿易協定です。英語の略称をNAFTA（ナフタ）と呼び、国境を越えた投資や貿易の障害をなくすことを目指しました。現在は、これを更新したUSMCA（米国・メキシコ・カナダ協定）へと移行しています。
問8	答え 1 南北アメリカ州	アメリカ合衆国の移民構成は、20世紀半ばまではヨーロッパ出身者が中心でしたが、1960年代以降の法改正や地理的な近接性を背景に、メキシコや中南米諸国を含む南北アメリカ州からの移民が急増しました。これに伴い、スペイン語を話すヒスパニック（ラテン系）の人々が社会の中で大きな存在感を持つようになり、多文化社会としてのアメリカを象徴する変化となっています。
問9	答え 3 イギリスとフランスの植民地であった歴史から、両言語を公用語とし、看板などの表記においても二つの言語が併記されている。	カナダはイギリス系とフランス系の住民が共存してきた歴史があるため、連邦公用語法によって英語とフランス語を対等なものとして扱っています。これは、アメリカ合衆国が「人種のるつぼ」として同化政策を進めた時期があったのに対し、カナダがそれぞれの文化の独自性を維持しながら共存を図る「文化のモザイク（多文化主義）」を重視している姿勢の表れでもあります。
問10	答え 1 ヒスパニック	かつてスペインの植民地であったメキシコや中南米諸国からの移民は、スペイン語を話す文化的共通性があるためヒスパニックと呼ばれます。近年アメリカ国内で急速に人口が増加しており、社会的に大きな影響力を持っています。
問11	答え 1 東アジアと北アメリカを結ぶ最短経路付近に位置しており、航空機の給油拠点として利用されている。	地球を球体として捉えた際、東アジアと北アメリカを結ぶ最短経路（大圏航路）は北極圏に近いアラスカ付近を通ります。アンカレジはこの経路上にあるため、かつて一度のフライトで長距離を飛べなかった時代に、燃料を補給するための給油地として発展しました。現在も、重量のある荷物を運ぶため燃料の消費が激しい国際貨物便などの重要な中継拠点となっています。
問12	答え 1 温暖な気候に加えて、広い土地や安価な労働力が確保しやすかったため、多くの企業が進出した。	1970年代以降、アメリカでは産業構造の変化が起こりました。北東部の古い工業地域（製造業地帯）から、税制上の優遇措置や低い労働コスト、そして生活しやすい温暖な環境を求めて、多くのIT企業や航空宇宙産業が南部のサンベルトへと拠点を移したことが発展の主な要因です。